


●キウメタシンパップH

●新フジパップ温感

【使用上の注意】

【解 説】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
 - ▶キウメタシンパップH
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人
 - ▶キウメタシンパップH
2. 次の部位には使用しないで下さい。
 - (1) 目の周囲、粘膜等
 - (2) しっしん、かぶれ、傷口
 - (3) みずむし・たむし等又は化膿している患部
 - ▶キウメタシンパップH
3. 長期連用しないで下さい。
 - ▶キウメタシンパップH



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - ▶キウメタシンパップH
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - ▶キウメタシンパップH
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

1.
 - (1) 共通事項解説〔1〕参照
 - (2) 医療用非ステロイド性消炎鎮痛剤外用剤にはぜんそく発作の注意が記載されています。本剤には非ステロイド性消炎鎮痛剤のインドメタシンが配合されているので、ぜんそく発作の既往歴のある人は使用しないよう注意が必要です。
 2.
 - (1) これらの部位に本剤を使用すると、強い刺激感や痛みがあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
 - (2) これらの部位に本剤を使用すると、強い刺激感や痛みがあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
 - (3) みずむし・たむし等の白癬症や化膿など感染症に対しては効果がなく、かえって症状が悪化するおそれがあります。
 3. 共通事項解説〔3〕参照
1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔5〕参照
 - (3) 共通事項解説〔7〕参照

● キュウメタシンパップH

● 新フジパップ温感

【使用上の注意】

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ ^{*1} 、 痛み、かぶれ ^{*2} 、ヒリヒリ感 ^{*1} 、 熱感 ^{*1} 、乾燥感 ^{*1}

※1：キュウメタシンパップH

※2：新フジパップ温感

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 〔11歳以上の〕*小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
※キュウメタシンパップH
3. 11歳未満の小児に使用させないで下さい。
▶キュウメタシンパップH
4. 本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用して下さい。
▶キュウメタシンパップH
5. 汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭き取ってから使用して下さい。
6. 皮膚の弱い人は、使用前に腕の内側の皮膚の弱い箇所に、1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用して下さい。
▶キュウメタシンパップH
7. 連続して2週間以上使用しないで下さい。
▶キュウメタシンパップH
8. 打撲、捻挫の場合には、はれや熱がひいてから使用して下さい。
▶キュウメタシンパップH
- 8'. 打撲、捻挫の急性症状には、ハレがひいてから使用して下さい。
▶新フジパップ温感

【解 説】

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる外箱を持参の上、専門家に相談する必要があります。
3. 5～6日間使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患が原因のことも考えられますので、使用を中止して専門家に相談する必要があります。
1. 共通事項解説〔8〕参照
 2. 共通事項解説〔9〕参照
 3. 本剤は小児への使用経験が少なく、安全性が確立していないため、11歳未満の小児には使用しないで下さい。
 4. 本剤は痛みやはれ等の対症療法に使う薬剤です。これらの症状の原因が骨や関節等の障害にある場合は根本的な治療が必要です。
 5. 患部がぬれていると、皮膚への粘着力が弱まり、はがれやすくなります。
 6. 皮膚の弱い人では、発疹・発赤、かゆみ等の症状が起こりやすいので、本剤の使用による過敏症状を未然に防ぐため、使用前に確認することをお勧めしています。
 7. 共通事項解説〔3〕参照
 8. 熱感や腫脹などの炎症の強い状態で患部を温めると症状が悪化するおそれがあります。このような場合には冷シップを使用して下さい。

●キュウメタシンパップH

●新フジパップ温感

【使用上の注意】

9. 本剤を使用後、汗をかくと刺激を感じることがあります。
▶**キュウメタシンパップH**
10. 本剤に触れた手で、目の周囲、口唇、鼻孔、その他の粘膜に触らないで下さい。
▶**キュウメタシンパップH**
11. 貼った患部をコタツや電気毛布等で温めないで下さい。
12. 貼ったまま、あるいははがした直後に入浴すると刺激を感じることがありますので、少なくとも入浴の1時間前にはがして下さい。また、入浴後は、30分程してから使用して下さい。
▶**キュウメタシンパップH**
- 12'. はがした直後に入浴すると強い刺激を感じますので、少なくとも入浴の1時間前にはがして下さい。
▶**新フジパップ温感**
13. 衣類に付着すると黄色に着色することがあります。
▶**新フジパップ温感**
14. 肌に膏体が残った場合は、お湯などでぬらしてふき取って下さい。
▶**新フジパップ温感**

【成分・分量に関連する注意】

本品は原料にオウバク末を使用していますので、製品により色調は多少異なることがあります。
▶**新フジパップ温感**

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない(湿気の少ない)涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)

【解 説】

9. 温感刺激を目的とする製剤は、皮膚に対する刺激が強いため、汗等により刺激や痛みを感じることがあります。
10. 本剤に触れた手で、これらの部位に触れると、異常な刺激感や強い痛みを起こすおそれがあります。このような場合は直ちに水で洗い流し、薬剤を取り除いて下さい。また、水洗いしても刺激がいつまでも続いたり、涙が止まらない場合には、医師の診療を受けて下さい。
- 11.12. 温感刺激を目的とする製剤は、トウガラシエキスが配合されており、皮膚に対する刺激が強く、特に使用中に患部をコタツ等で温めたり入浴したりすると、強い刺激や痛みがあらわれることがあります。
13. 本品に配合しているオウバク末等の生薬エキスにより、衣類などに着色することがあるので、念のため注意して下さい。
14. 肌の状態によっては、膏体が肌に残る場合があります。

生薬配合の製剤であることより色調にバラツキがありますが規格の範囲内であり、効果に影響しないことを記載しています。

1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照

●キュウメタシンパップH

●新フジパップ温感

【使用上の注意】

4. 品質保持のため、開封後の未使用分は袋に入れ、チャックをきちんと閉めて保管して下さい。
5. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

4. シップ剤は外気にふれて乾燥すると粘着力が悪くなり、品質も劣化するので、品質を保持するため、開封後の保管方法を記載しています。
5. 共通事項解説〔17〕参照